

チリ（2023年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在チリ日本国大使館](#)

1. 2021年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

1.2021年度日本語教育機関調査結果

機関数	教師数	学習者数								
		合計	初等教育		中等教育		高等教育		その他教育機関	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
11	39	1,096	44	4.0%	64	5.8%	323	29.5%	665	60.7%

（注）2021年度日本語教育機関調査は、2021年9月～2022年6月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

1975年に日智文化協会において、学生や社会人など広く一般人を対象とした日本語講座が開設されたのが始まり。その後、1993年にサンティアゴ大学（国立）において選択科目として日本語講座が始まり、1995年には5年制の翻訳課程（英語・日本語専攻）が人文学部開設された。2003年以降は日本語を選択科目に取り入れる大学や日本語教育機関（語学学校）の増加傾向が見られる。

背景

日本とチリとの関係は、要人往来の活発化を中心とする政治的関係や、経済連携協定（EPA）を通じた経済関係のみならず、日本料理やマンガ、アニメなどに対する人気が高まるにつれて、チリ人の間にも日本に触れる

機会が身近に増え、日本文化全般に対する関心が高まっている。

特徴

チリでは、外国語としての英語教育は小学校から始まるが、インターネットや外国のコンテンツ、技術的なツールに広くアクセスできるようになったことで、他の外国語習得への関心が、特に若年層の間で広まってきている。この流れの中で、日本語学習の要望も増加している。

チリ人にとって、日本語学習のきっかけは、日本文化への関心、母語であるスペイン語と全く異なる言語の学習への挑戦など、非実利的な傾向が一般的であるが、技術・経済的に発達した日本との結びつきから、留学、就職を意識した学習者も増加している。

最新動向

チリにおける日本語教育は、大学専門課程のサンティアゴ大学、一般人向けの中央日本人会、日智文化協会、日本総合学習センターなどで行われているほか、外国語学校や日本人会などでも行われている。さらには、日本の伝統文化への関心のみならず、若者層を中心に、特にマンガ、アニメ、音楽などのポップカルチャーへの人気が高まっており、多くのチリ人がインターネットなどを通じて最新情報を入手している。また、日本のアニメを専門に放映するケーブルテレビ、日本のアニメイベントなどもある。一方で、日本語学習への関心が高まる中、日本語教師（特に日本人教師）が不足しており、日本語学習の需要をカバーしきれていないのが現状である。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により、日本語教育機関の活動がオンラインによる指導へと移行し、全ての日本語教育機関がオンラインによるコースを実施した。

パンデミック後の2022年から、一部の教育機関は対面式授業に戻ったが、ハイブリッド形式によるオンライン講座の提供は継続した。いくつかの機関はオンライン授業のみを継続し、学生の要望によりハイブリッド授業の導入を検討している。ハイブリッド形式では、地方の学生や移動に時間を要する学生がリモートで授業に参加できるメリットがある。

2022年以降、チリにおける日本語学習者数は増加している。おそらく、一方ではパンデミック規制の終了、他方ではオンラインコースの増加によるものと考えられる。これらオンラインコースの中には、個人指導（家庭教師）による学習や、正式な教育機関ではないものもあるが、ソーシャルネットワークのおかげで、特に若者の間でオンラインを含む日本語コースに関する情報へのアクセスが拡大したことによると考えられる。

2022年には日本語能力試験が通常年どおり2回実施され、パンデミック前と比較して57%の受験者増を達成した。

2024年3月時点、学内の資金問題によりアウストラル大学の日本語授業が停止している。各教育機関が授業の需要に応えられる日本語教師が不足しているという懸念を有しているものの、2024年以降、選択科目として2つの大学で日本語教室が新規に開設される見込みもある。

教育段階別の状況

初等教育

Colegio Bonsai Montessori オンライン小中併設校で2022年から選択科目の日本語講座が開設された。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

(注：チリの教育は、下記のとおり、初等、中等、高等教育の 8-4-4 制。)

高等教育

チリでは、高等教育が卒業後の職業と直結して考えられる傾向が強く、大学で外国語を専攻した場合、教員養成、翻訳者養成のコースがほとんどである。4 年生まで修了すると学士号、5 年生までの全課程を修了すると翻訳家の資格を授与される。

(1) サンティアゴ大学 (Universidad de Santiago de Chile : USACH)

スペイン語圏の南米における高等教育機関で唯一、正式専攻課程としての日本語教育が行われている。1993 年に選択科目としての日本語講座が設置され、1995 年からは、人文学部言語文学学科翻訳課程に 5 年制の英語・日本語専攻としての日本語講座が開設された。2013 年には翻訳課程のカリキュラムが改訂され、1 年次に英語、日本語、ポルトガル語を学び、2 年次に英語・日本語専攻か英語・ポルトガル語専攻を選択するというカリキュラムになった。翻訳課程であるため、日本語、文法、作文などのほか、翻訳、通訳などの科目も学ぶ。毎年入学希望者が増えており、国内における知名度も上がっている。課外活動として、チリの主要大学に留学中の日本人学生や在留邦人と交流する機会を定期的に設けている。また、毎年日本語専攻の学生たちが自主企画として「日本祭」という文化祭を開催している。

卒業時の到達レベルは日本語能力試験 N3 レベルだったが、2009 年より能力試験 N2 合格を目指したプログラムを実施した。新カリキュラムでは N2 合格レベル到達を卒業条件にし、現在はそれに向けたシラバスを実施している。英語・日本語翻訳家の資格を取得することができる。2023 年まで 24 期約 440 名の卒業生を送り出し、2023 年後期時点、約 120 名が在籍している。文部科学省国費留学生、また国際青年交流事業などで短期渡日する者が毎年数名程度おり、日本企業の進出が進む中、卒業生で日本関連業種に就職する者も増えてきている。なお、サンティアゴ大学には、日本語課程（専攻）のほかに選択科目としての日本語講座もある。2020 年度、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、授業はオンライン指導へ移行されたが、2022 年後期に対面授業が再開した。

(2) その他の大学

選択外国語科目として、次の日本語講座が開設されている。

- コンセプション大学 (Universidad de Concepción)、私立、コンセプション、2012 年
- カトリカ大学 文学部 (Universidad Católica, Facultad de Letras)、私立、サンティアゴ、2016 年
- アメリカ大学 (Universidad de Las Americas) 私立、サンティアゴ、2021 年
- チリ大学 人文科学・哲学部 (Universidad de Chile, Facultad de Filosofía y Humanidades)、国立、サンティアゴ、2022 年
- クリスチャン・ヒューマニズム・アカデミー大学 (Universidad Academia de Humanismo Cristiano) 私立、サンティアゴ、2023 年

学校教育以外

チリ中央日本人会、第 5 州バルパライソ日系人協会のほか、日智文化協会 (Instituto Cultural Chileno Japonés : ICCJ)、日本統合学習センター (Centro de Estudios Integrales de Japón : CEIJA)、アラメダ言語学校 (Escuela de Idiomas Alameda)、オンライン言語センター 「オラ・ハポネス」 Hola Japonés、Universidad Abierta de Recoleta においてそれぞれ日本語教室が開設されている。また、2018 年まで、チリで

は毎年「日本語弁論大会」が開催された（在チリ日本国大使館、日智商工会議所及び JF が協力。学習時間数により 3 レベルに分類）。当初は日智文化協会とサンティアゴ大学の 2 機関の学習者が中心であったが、徐々に他機関からの参加者が増え、地方からの参加者も増加している。2020 年度、新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、日本語弁論大会が中断となった。2022 年に「朗読発表会」というオンラインイベントに変更した。

なお、Universidad Abierta de Recoleta は正式な大学ではなく、レコレタ区によって設立された機関で、成人向けのコース、ワークショップ、セミナーを実施している。日本語コースは 2017 年から開講されている。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

8-4-4（～6）制。

幼稚園 1 年間（5 歳）、初等教育が 8 年間（6～13 歳）、中等教育が 4 年間（14～17 歳）。高等教育機関は大学（専門により 4～6 年）、技術専門学校（専門により 2～3 年）がある。初等教育 8 年間と中等教育 4 年間の計 12 年間は義務教育とされている。

教育行政

すべて教育省（Ministerio de Educación）の管轄下にある。

言語事情

主要言語（公用語）はスペイン語。

外国語教育

公立校では、一般に初等教育 5 年生より英語が教えられている。就学前教育あるいは小学校 1 年生から教育を開始する機関もある。以前は 7～8 年生の 2 年間、第二外国語としてフランス語が教えられていたが、2002 年より選択制となった。私立校では学校により事情は大きく異なる。

外国語の中での日本語の人気

一般的に英語以外の外国語はあまり重視されておらず、日本語学習者についても、チリは日本からの計画的移民の歴史がなく日系社会の規模も極めて小さいことから、近隣諸国と比べると日本語学習の需要は少なかった。しかしながら、上記のとおり教育機関数や学習者の増加が見られること等に鑑みれば、日本語の人気・ニーズは上昇傾向にあると考えられる。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4.学習環境

教材

初等教育

2022 年から Colegio Bonsai Montessori オンライン小中併設校で選択科目の日本語講座が開設された。主に、『まるごと 日本のことばと文化』 来嶋洋美、柴原智代、八田直美（国際交流基金）、『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）及び『漢字ベーシック』 山下杉雄、大西匡輔（明治書院）が利用されている。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

主に使われているテキストは『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）と『まるごと』 来嶋洋美、柴原智代、八田直美（国際交流基金）。

サンティアゴ大学の日本語専攻では以下の教科書も利用している。

- ・『いろどり 生活の日本語』（国際交流基金日本語国際センター編著）
- ・『漢字ベーシック』 山下杉雄、大西匡輔（明治書院）
- ・『漢検漢字学習』 公益財団法人日本漢字能力検定協会（公益財団法人日本漢字能力検定協会）
- ・『できる日本語』 嶋田和子（アルク）
- ・『総まとめ』 佐々木仁子、松本紀子（アスク）
- ・『完全マスター』 田代ひとみ、宮田聖子、荒巻朋子（スリーエーネットワーク）
- ・『中・上級のための速読の日本語』 岡まゆみ（The Japan Times）
- ・『小論文への 12 のステップ』 友松悦子（スリーエーネットワーク）
- ・『大学生になるための日本語』 堤良一、長谷川哲子（ひつじ書房）

学校教育以外

『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）と『まるごと』 来嶋洋美、柴原智代、八田直美（国際交流基金）がよく使われている。

IT・視聴覚機材

サンティアゴ大学では、総合日本語の授業や学生の研究発表などにおいてほぼ毎時間パワーポイントを使用しており、DVD などのメディア教材も多用している。教材の配布、課題の提出、学生との連絡には専用のサイトやメーリングリストを活用している。また、インターネットを利用した情報収集の方法を指導しているほか、日本語学習のサイトやスペイン語による日本関係のサイトなどを学生に紹介している。他機関においても、メディア教材やコンピューターが授業に活用されている。独習者の場合、インターネットでアニメや漫画を通じて勉強するとよく聞かすが、2020 年 10 月時点で JF のプラットフォーム「MINATO」のオンラインによるコースを使う学習者が増えた。

2020 年度から、オンライン授業が、Zoom、Microsoft Teams、Google Forms などを用いて行われている。また授業の準備をする際にも各種インターネットソフトやアプリなどが利用されている。

5. 教師

資格要件

初等教育

選択科目としてのコースが教育カリキュラムに含まれていないため、特に資格や条件は設定されていない。他方、教育カリキュラムには含まれていないものの初等教育レベルで日本語を教えている教師は、サンティアゴ大学で日英翻訳の学位を取得している。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

特に日本語教師としての資格要件は設定されていない。実際に日本語教師になっている者は、学士号を持ち（専門不問）、外国語教育についてある程度の経験を持っている。チリ人が大学の正式な教員となるためには、日本語、言語学関連の修士号以上を取得していなければ難しい。

学校教育以外

特に日本語教師としての資格要件はない。

日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムは確認されていない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

2023年時点で、常設講座のポスト（45名）では、37%の教師（17名）が日本人である。日系人を含むチリ人講師が増加傾向にある。

大学と民間機関において、複数の日本人教師が日本語講座を担当している。

教師研修

チリからは毎年日本で実施される日本語教師研修に参加している。

また、2015年～2023年に実施された南米スペイン語圏日本語教育連絡会議にチリから日本語教師が参加した。2016年～2019年には、日本語教育専門家のチリ訪問の機会を捉え、日本語教育のワークショップが実施された。

さらに、サンティアゴ大学は、2014年～2016年に、外国語としての日本語教育セミナーを開催した。

2024年に南米スペイン語圏日本語教育連絡会議がサンティアゴ市においてハイブリッド形式で実施される予定である。

6. 教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

2003年5月にチリ日本語教師会が発足したが、これまで断続的に中断されてきた。

最新動向

2019年からメーリングリストやオンライン会議を通じて日本語教師が日本語に関する情報共有や意見交換を行っている。

7. 日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICAからの派遣は行われていない。

その他からの派遣

なし

8. シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

9. 評価・試験

共通の評価基準や試験は確認されていない。

2011年12月より日本語能力試験が実施されており、現在は7月と12月の年2回行われている。

10. 日本語教育略史

1975年	日智文化協会に日本語講座開設
1993年	サンティアゴ大学人文学部に選択日本語講座開設
1995年	同大学人文学部言語文学学科に翻訳課程英語日本語専攻開設

2002年	アウストラル大学に課外日本語講座開設（現在は閉鎖）
2003年	同講座が正式の選択科目になる 国立高校「Instituto Nacional」に課外日本語講座開設（現在は閉鎖） カトリカ・デル・ノルテ大学に日本語クラブ開設（現在は閉鎖） チリ中央日本人会に成人対象の日本語講座開設
2004年	小学校2校（エルターボ）に日本語講座開設（現在は閉鎖） 第5州バルパライソ日系協会に日本語講座開設 カトリカ・デル・ノルテ大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖）
2005年	ラ・セレナ大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖）
2006年	アコンカグア大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） カトリカ大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖）
2007年	日本統合学習センター（CEIJA）に日本語講座開設 「日本の心」（Cdj）語学学校開設（現在は閉鎖）
2009年	実行委員会主催による初の全国規模の弁論大会開催 アジアグローバル（日本語、中国語などのアジアの言語・文化を扱う）が初等・中等教育機関と連携し日本語講座を実施（現在は閉鎖） 「第1回チリ共和国日本語教育セミナー」開催
2011年	日本語能力試験実施開始 チリ大学（法学部）に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） ルカリウエン文化センターに日本語講座開設（現在は閉鎖）
2013年	コンセプション大学に選択日本語講座開設
2016年	タルカ大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） カトリカ大学（文学部）に選択日本語講座開設
2017年	Liceo B. Carmela Carvajal de Prat 女子高等学校に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） Universidad Abierta de Recoleta レコレタ区立開放的教育機関に選択日本語講座開設
2020年	オンライン言語センター「オラ・ハポネス」（Hola Japonés）に日本語講座開設

2021 年

アラメダ言語学校 (Escuela de Idiomas Alameda) に日本語講座開設
アメリカ大学に選択日本語講座開設

2022 年

Colegio Bonsai Montessori オンライン小中併設校に選択日本語講座開設
チリ大学 (人文科学・哲学部) に選択日本語講座開設

2023 年

クリスチャン・ヒューマニズム・アカデミー大学に選択日本語講座開設